

## 実習 5:JDBC データソースのセットアップ

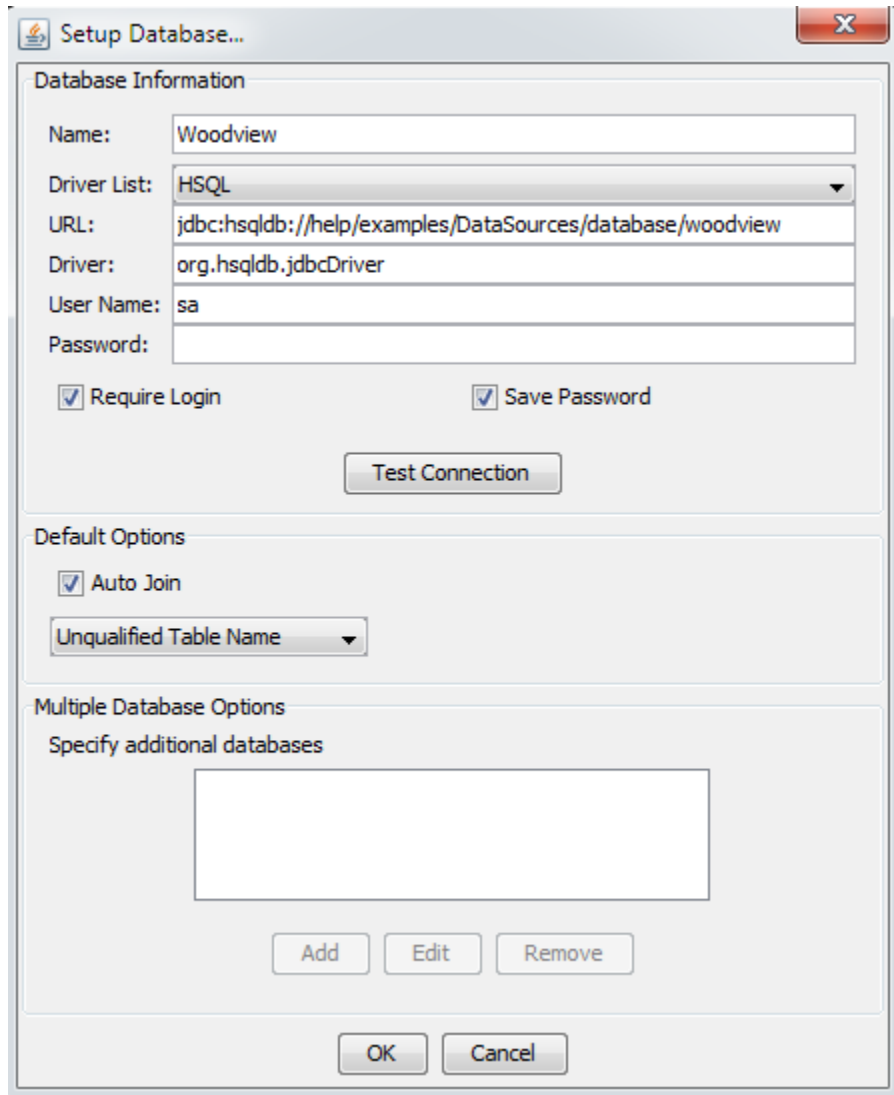
この実習では **EspressReport ES** のインストールを含む **HSQL JDBC** データベースへの接続を行います。JDBC ドライバのクラスは、**ERES** の Web アプリケーションインストール時に自動的に追加されています。一般的な JDBC ソース(**MS SQL**、**MySQL**、**Oracle**、**PostgreSql**、**Informix**、**HSQL**)のドライバを含みます。もし別バージョンのドライバや新しいドライバが必要であれば、**<ERES\_InstallDir>/Web-Inf/lib** ディレクトリに交換または追加を行うことができます。

1. 実習 4 で作成したデータレジストリを開きます。
2. 「**Databases**」ノードを選択し、「**ADD**」をクリックします。これにより接続の詳細を設定するためのダイアログが表示されます。
3. 「**Driver List**」ドロップダウンメニューから「**HSQL**」を選択します。「**Driver**」と「**URL**」オプションは自動的に設定されるため、ドライバのクラスパッケージや **URL** 構文を覚える必要はありません。
4. 「**URL**」フィールド内の「**<PATH TO DB>**」を **HSQL** データベースの実際のパスに変更します。この実習では下記の内容に変更します。

*help/examples/DataSources/database/woodview*

注意：このパスは **ERES** のインストールフォルダからの相対パスです。

5. 「**Require Login**」と「**Save Password**」のチェックボックスを選択し、「**User Name**」に"**sa**"を入力し、「**Password**」には何も入力しません。
6. 最後に名前を入力します (例 : **Woodview**)。そのときの「**Setup Database...**」ダイアログの表示は以下ようになります。



7. 設定が正しいか確認を行うために、「Test Connection」をクリックした後に、「Ok」をクリックします。データソースマネージャーにデータベースが追加されます。